

不祥事根絶に向けた取組

ひたちなか市立高野小学校

教職員による不祥事は、県民の学校教育への信頼を著しく低下させる行為であり、なんとしても根絶しなければなりません。本校では、不祥事根絶に向けたコンプライアンスと厳正な校務執行のための教職員の意識改革、職場風土の改革に向け、以下のように取り組んでいます。

1 不祥事根絶をテーマとした職員参加型の校内研修を定期的実施しています。

不祥事の根絶には、わいせつ行為の防止、盗撮防止、セクハラ防止、体罰防止、飲酒運転防止、交通事故防止、公金の不適切な処理の防止、情報漏洩の防止等、多岐にわたる取組が不可欠です。本校では、これらの各事案について、年間計画に基づいた校内研修を実施し、グループ討議やロールプレイング等の手法により、具体的な防止策を確認しています。

2 不祥事ごとにチェックリストを作成し、職員が定期的に点検しています。

不祥事根絶について職員自身が自分事として捉えられるよう、チェックリストを作成し、定期的に点検をしています。職員自身が、「不祥事の原因は何か」、「自分の行動や意識に問題はないか」等について把握し、自己啓発を図っています。

3 不祥事関連の通知文や記事等を利用し、様々な事例を職員全体で共有しています。

不祥事の内容と対象職員の処分内容等について、県教委や市教委からの通知文や記事等を基に、職員自身が自分事として捉え、具体的な防止策を講じることができるようになっています。

4 管理職による職員との個人面談を重視し、悩み等の解決のための支援を行っています。

職員のストレスや個人的な悩みが不祥事の遠因にならないよう、管理職が職員一人一人との面談や日頃の会話を通して解決法を助言する等、きめ細かに職員を支援しています。また、悩みを一人で抱え込まない、気軽に相談できる風通しのよい職場風土をつくって参ります。

高野小学校では、不祥事の根絶について、職員一人一人が自分事として捉え、自覚と努力を継続できるよう取り組んで参ります。